

矯正歯科治療に伴う一般的なリスクや副作用について

- ① 最初は矯正装置による不快感、痛み等があります。
- ② 歯の動き方には個人差があります。そのため、予想された治療期間が延長する可能性があります。
- ③ 治療中は、装置が付いているため歯が磨きにくくなります。むし歯や歯周病のリスクも高まりますので、丁寧に磨いたり、定期的なメンテナンスを受けたりすることが重要です。当医院では歯のクリーニング・歯石取り・フッ素塗布を無料で行っております。
- ④ 歯を動かすことにより歯根が吸収して短くなる場合があります。また、歯ぐきがやせて下がる場合があります。
- ⑤ ごくまれに歯が骨と癒着していて歯が動かない場合があります。
- ⑥ 治療中に「顎関節で音が鳴る、あごが痛い、口が開けにくい」などの顎関節症状が出る場合があります。
- ⑦ 様々な問題により、当初予定した治療計画を変更する可能性があります。
- ⑧ 歯の形を修正したり、咬み合わせの微調整を行ったりする可能性があります。
- ⑨ 装置を外す時に、エナメル質に微小な亀裂が入る可能性や、かぶせ物(補綴物)の一部が破損する可能性があります。
- ⑩ 装置が外れた後、保定装置を指示通り使用しないと後戻りが生じる可能性が高くなります。
- ⑪ あごの成長発育によりかみ合わせや歯並びが変化する可能性があります。
- ⑫ 治療後に親知らずが生えて、凸凹が生じる可能性があります。加齢や歯周病等により歯を支えている骨がやせるとかみ合わせや歯並びが変化することがあります。その場合、再治療等が必要になることがあります。